

kaspersky

Kaspersky Endpoint Security 導入サービス

概要

このドキュメントでは、カスペルスキーのエキスパートが提供する Kaspersky Endpoint Security 導入サービスについて説明します。

このサービスの目標は、以下を目標としています：

- 最新バージョンの Kaspersky Security Center 管理コンソールの導入
- 最大 50 台までの Kaspersky Endpoint Security の導入（エージェントのインストールを含む）

対象範囲

Kaspersky Security Center 管理コンソール 1 台、および Kaspersky Endpoint Security 最大 50 台まで

サービスタイムライン

注：本サービスでは、前述の目標を達成するための作業時間として最大 8 時間が割り当てられます。これは、Kaspersky Security Center 1 台とエンドポイントマシン最大 50 台を対象とします。すべてが実施され、お客様の了承を得た場合、作業時間が 8 時間未満であっても、プロジェクトは「完了」となります。

サービスは、以下のステージに分けられます：

初期段階	製品の導入	最終段階
キックオフ、および Kaspersky Endpoint Security アーキテクチャについての説明	エンドポイントが 300 台未満の場合の SQL 2019 Express のインストールと設定（オプション） Kaspersky Security Center のインストールと設定	ダッシュボードでのインストールの検証に加え、インストールがすべて正しく完了していることのデモでの確認
システムアーキテクチャおよび環境の調査（リモートアクセスの確立、バイナリの検証、およびサーバーの修正プログラム、ネットワーク通信、インターネットアクセス、サーバー要件の確認） データベース、その配置場所およびリソースの調査	検出設定をポーリングして、Kaspersky Endpoint Security の保護をインストールするマシンの場所を確認	完了レポートの作成および提供
	ワークステーション用の Kaspersky Network Agent およびエンドポイントのポリシーの作成	
	一連のタスク（アップデート、完全スキャン、簡易スキャン）の実行	
	リポジトリへのアップデートのダウンロード	
	管理サーバーのバックアップ手順の確認	
	ライセンスのアクティベート	

	Kaspersky Endpoint Security およびネットワークエージェントのパッケージの作成	
	グループの作成	
	最大 50 台のエンドポイントへネットワークエージェントおよび Kaspersky Endpoint Security のインストールタスクの実行	

要件および声明

以下に記載された要件が完全に満たされていない場合、カスペルスキーはこのサービスを提供、または提供を試みる義務を負わないことにご注意ください。これらの要件のいずれかが問題となる可能性がある場合は、速やかにご連絡ください。

- 本サービスはリモートで提供され、各 4 時間の 2 回に分割される場合があります。
- リモートサポート Zoho Assist ツールで使用される TCP ポート 80 および 443 の解放（要件の詳細については、<https://www.zoho.com/assist/kb/firewall-configuration.html> を参照ください）。
- サービス提供中は、カスペルスキーのエンジニアからの妥当な要求（権限やアクセス権などを含む）に対応するために、お客様の IT 部門またはセキュリティチームの代表者と常に連絡できる状態であること
- Kaspersky Security Center の最新バージョンの要件を満たしていること
要件は以下を参照ください：（ページ右上でアプリケーションのバージョンを選択してください）
 - システム要件：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/96255.htm>
 - DBMS に使用するアカウント：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/156275.htm>
 - Kaspersky Security Center で使用するポート：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/158830.htm>
 - デバイスの検索：https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/3884_1.htm
- Kaspersky Security Center をインストールする Windows サーバーは、Windows のバージョンが 2019 以降であり、最新の修正プログラムがすべてインストールされていること
- 最新バージョンの Kaspersky Security Center および Kaspersky Endpoint Security のセットアップファイルの事前ダウンロード
セットアップファイルは <https://www.kaspersky.co.jp/small-to-medium-business-security/downloads/endpoint> から入手してください。
- 300 ノード未満の場合は SQL 2019 Express、300 ノード以上の場合は SQL Standard エディションがインストール済みで、あらかじめ動作していること
 - Kaspersky Security Center 配布ファイル
 - 最新バージョンの Kaspersky Endpoint Security
 - カスペルスキーライセンスファイル
- Kaspersky Security Center サーバーは、カスペルスキーのデータベースからのダウンロードを目的として、制限なくインターネットにアクセスできること
- 対象のマシンにインストールされているセキュリティ製品はすべて削除する必要があります。削除が自動的に行われず、セキュリティ製品およびその他のサードパーティ製ソフトウェアを削除するためのパスワードやスクリプトを利用できない場合は、お客様の責任において当該ソフトウェアを事前に削除していただく必要があります。必要な場合は、このタスクに対応するためのサポートインシデントを別途作成することができます。その場合、本サービスの提供前に完了しておく必要があります。
- 単一の場所に既定の設定で環境が構築されます。

- Kaspersky Endpoint Security が最大 50 台のマシンに導入され、お客様が残りの環境への導入を行えるように知識を共有します。
- 導入中に技術的な問題が発生した場合は、サポートサービスでの対応となります。

範囲内	範囲外
<ul style="list-style-type: none"> • 1 台のサーバーへの SQL 2019 Express のインストール（オプション） • 既に SQL を実行しているサーバーへの Kaspersky Security Center のインストール • 検出方法の作成（ドメインまたは Active Directory） • Kaspersky Endpoint Security のパッケージの作成 • Kaspersky Network Agent のパッケージの作成 • Kaspersky Endpoint Security および Kaspersky Network Agent のポリシーの作成 • Kaspersky Security Center のバックアップタスクの設定（同一サーバーに保管されるバックアップ） • アップデートをリポジトリにダウンロードするタスクの作成 • 環境内の Kaspersky Endpoint Security をアップデートするタスクの作成 • サーバーおよびワークステーションに基づく管理構造の作成 • 環境の簡易スキャンを実行するタスクの作成 • 環境の完全スキャンを実行するタスクの作成 • 最大 50 台のマシンへの Kaspersky Network Agent のインストール • 最大 50 台のマシンへの Kaspersky Endpoint Security のインストール • 互換性がないサードパーティのセキュリティアプリケーションの削除（削除を実行できるファイルがある場合）。このようなファイルがない場合は、このタスクを処理するサポートインシデントが作成されます。これはプロジェクトの完了後に実行される必要があります • EICAR を使用したマルウェア検知の実行 • 完了レポートの作成 	<p>「範囲内」および「成果物」に明記されていないタスクまたは製品の作業は行われません。これには、以下が含まれます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • あらゆる種類のクラスタまたは高可用性の構築 • Kaspersky Security Center と Active Directory の連携 • カスペルスキーによる保護機能が正常に機能しないアプリケーションの除外リストの作成 • 次の対象製品に保護をインストールする：Linux または Mac マシン、携帯電話、またはタブレット • MDM 機能の導入 • 暗号化またはパッチ管理モジュールの導入 • SIEM システム同期の設定 • 任意の製品への対応、またはそれらと Kaspersky Security Center との連携（SQL および「範囲内」に記載のものを除く） • ユーザーの作成、DNS、DHCP、Active Directory、またはその他のネットワークサービスへの対応 • 外部のファイアウォールまたはルーター用のルールの作成または編集 • ハイパーバイザー環境の作成または編集 • プロジェクトに関連する任意のマシンまたはシステムのバックアップの実行 • オペレーティングシステムのインストール

結果と成果物

1. Kaspersky Security Center が導入され、利用可能な状態になります。
2. Kaspersky Endpoint Security が最大 50 台のワークステーションに導入されます。
3. 管理者は、Kaspersky Security Center コンソールを通じてエンドポイントセキュリティを管理する方法と、Kaspersky Endpoint Security をさらに多くのワークステーションに展開する方法を理解できます。
4. 完了レポートが提供されます。



注意事項

Kaspersky Professional Services のカスタムプロジェクトでは、既成のサービスパッケージの対象範囲外となる追加の設定や展開、その他のさまざまなタスクを実行できます。カスタムプロジェクトにご興味ございましたら、弊社営業へお問い合わせください。

サービス実行開始日は、お客様およびカスペルスキーサービスチームの間で交渉し、希望開始日の 15 日以上前に取り決めます。



www.kaspersky.co.jp

[Kaspersky Professional Services](#)

© 2023 AO Kaspersky Lab.

無断複製禁止。登録商標とサービスマークに関する権利は各所有者に帰属します。